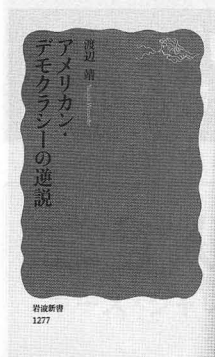


最近出版されたぜひおすすめの本

アメリカン・デモクラシーの逆説 渡辺靖

慶應義塾大学教授の渡辺靖さんは、いまアメリカが抱える問題は民主主義を超えたところにあると書いている。日本と同じくアメリカも政治不信に陥っている。大統領選挙は大量資金を必要とし巨大ビジネス化している。グローバル化もアメリカからの一方通行的なものではなく、アメリカ自身も他国の影響を受けている。国内の貧困や人種差別も根強くある。アメリカが掲げてきた自由や民主主義・人権について考え直さなければならぬ時期にきていると説く。アメリカ生活が長い渡辺さんのフィールドワークは貴重だ。



岩波新書 798円

チーズと塩と豆と 角田光代 井上荒野 森絵都 江國香織

4人の直木賞作家、角田光代さん、井上荒野さん、森絵都さん、江國香織さんの短篇が並ぶ本書は、それぞれスペインのバスク地方、イタリアのピエモンテ、フランスのブルターニュ、ポルトガルのアレンテージョが舞台。その風土が色濃く映し出された人間模様は、一篇ごとに味わいも異なる。料理人の父に反発する娘を角田さんが描けば、病床の夫を見舞い続ける妻を井上さんが、森さんは窮屈な土地を飛び出した息子を、江國さんはパートナーに嫉妬心を抱く男を描く。人生の奥深さを見せつける力作揃いの一冊だ。



集英社 1,365円

フジテレビアナウンサーのおうちごはん

朝の顔、昼の顔、そして夜の顔。出演する番組によってつけられるアナウンサーたちの呼び名。本書はフジテレビアナウンサー78人の別の顔「料理人」たちの「おうちごはん」をひと口メモとともに紹介している。女性アナ70人プラス男性アナ8人、一人一品。肉じゃががあり、本格的な中華スープやシチューありと、どれもおいしそう。簡単に早くできるアイデアレシピも満載で、ちょっと献立に困ったときに役立ちそうだ。



扶桑社 1,260円

「地元」の力 地域力創造7つの法則 金丸弘美

故郷は人間力で活気を取り戻す。金丸弘美さんは食環境ジャーナリスト。本書では過疎化した地域がどのようになっているのか、具体例を挙げて検証する。金丸さんはそれぞれの土地を訪れ、綿密な取材を行った。町おこし成功には、トータルで考える「デザイン力、核となるものを掴む発進力など7つの法則が見えてきた。知恵力を駆使した長崎市は金をかけず歩いて回る観光コースを開発、大阪市はグルメ居酒屋、鹿児島県大崎町は循環型社会を実現。全国18カ所に及ぶ実例。独自性と情熱が地元を元気にする。



NTT出版 1,680円

著名人名づけ事典 矢島裕紀彦

新生児の命名にはある種の決断や覚悟、発想が必要だ。時代潮流や名前の流行り廃り、親の願望や一族の系譜などが反映される一大事である。歴史に名を残す知識、経験、見識あふれる著名人とても例外ではない。矢島裕紀彦さんは文学者などの足跡をたどる書籍を今までに刊行してきた。本書では幕末以降の著名人が子どもにもどのような名前をつけたか渉猟する。「自分の子供の名を付ける場合でも、矢張これならばといふやうな名は、容易に付けられない」という夏目漱石の感慨からも命名されて人生を生きる重みを再確認できる好著である。



文春新書 893円